

## 選挙特集第2弾

# 議員のホンネ

三春町議会議員選挙が、9月30日の任期満了に伴い行われる予定です。そこで、171号(2月発行)から172号(今号)、173号(8月発行)の3回に分けて選挙特集と題して特集記事を掲載します。



本田 忠良

### 気になる議員の報酬と定数

議員の報酬は月額22万4千円、年間2,688,000円、期末手当837,200円、合計3,525,200円これが議員の年収です。議会に関する出席すべき日数は約50日で平均6時間、年約300時間でこれを時給にすると11,750円になります。議員の視察研修は議会費予算に含まれ個人が費用することはなく、更に町村議会議員の副業は何ら問題ありません。

定数については、昨年3月に行われた全員協議会において、議員各自の意見を述べる機会がありました。様々な意見が出された後賛否を問い、現在の定数16人のままになりました。ちなみに定数を改めるべきという議員は橋本善次、新田信二、陰山丈夫、本田忠良の各議員でした。



橋本 善次

### 私感

令和元年9月の三春町議会議員選挙で無投票から本日まで、まさに新型コロナウイルスに翻弄された日々でした。各地区で開催してきた町政報告会や懇談会も3密を避けるため開けなくなり、支援者や後援会の皆様には大変申し訳なく思います。また、コロナ禍前より格差・分断・差別が顕在化し、それが継続・固定化されるのを憂慮しています。地域の絆・結の精神を再構築しましょう。

さて、町の議会議員選挙は、ここ4回のうち2回が無投票です。私は議員定数削減を主張してきましたが、議会においては少数意見であり大変残念に思います。町民の皆様、一緒に議員定数削減について考えましょう。



新田 信二

### コロナ禍の3年間を振り返って

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、幼稚園から大学まで、多くの影響がありました。議員活動も、制限されることが多く、オンラインなどの情報交換の日々を送ってきました。

しかし、5月にはコロナウイルスも5類に見直されることで、徐々に通常の生活に戻れることを大いに期待しているところです。町では、今年9月に町長・町議員の同時選挙を行います。特に議員は、選挙にならない年が続いています。各地域から選出して頂き、これから先の子供達に住み良い三春を残してあげられるよう、活動して頂きたいと願います。特に少子高齢化社会が続く中で、子育てから介護福祉等の今後の対応はとても重要となります。

これからの社会は、女性議員の活躍の場がさらに広がり期待されますので、女性の方々の立候補ぜひお願いします。地域の方々には、男女問わず選出・支援を是非でもお願い致します。



山崎ふじ子

### 議員の感想

「お金の使い方が正しいのか。金額がまっとうなのか。」予算・決算の審査の時にいつも頭において考えています。町からの細かい説明が分かるようになるには、一期4年はかかると感じました。また、会議の時には、自分が理解できないことについては、必ず質問をして町民へ報告出来るまでに理解しようと努力してきました。もちろん、まだまだ不十分ですが。

議会だよりの発行に携わってききましたので、各地区に取材にお邪魔させて頂きました。様々な方からお話を聞くことが出来て、私が知らないことを学ぶことができたことです。